

矢嶋 翼・岩田 典一・板谷 良久
竹田 秀泰・木村 司

緑 風

政務活動報告

★天草市議会において、議会基本条例制定後の運用状況について調査しました。市の事業報告などを行う全員協議会については継続されておりませんが、その他議会報告会などが開催されていない状況であることがわかりました。議会基本条例は、継続性・実効性のあるものを制定しなければならぬと感じました。



矢嶋 翼 議員

★苦小牧駒澤大学への支援策の質問に、教育ローン利子補給や奨学金返還支援に取組む。また、系列の京都看護大学サテライト校開設の情報もあると答弁がありました。

★新「市民ホール」建設・運営に民間活力導入の質問に、可能性を調査し、9月をめどに報告書をまとめることと答弁がありました。

★教育理念として鹿児島に伝わる「負けるな・うそを言うな・弱い者をいじめな」を見習うべきとの質問に、先人の教えを生かす事は重要であり研究したいと答弁がありました。

★秋田市参考の授業改善効果への質問に、学力テストの正答率は概ね全国平均であると答弁がありました。



岩田典一 議員

★平成30年度予算で、児童虐待防止及びDV被害者保護活動について質問しました。私は、このことはまさに人権侵害であり、特に子どもの前でのDVは児童虐待とも位置づけられており、未来を担う子どもたちにも大きな影響を及ぼすこととなります。DV被害者を支援することはその方の生活に大きく関わり、その子どもを救うことにつながります。お一人でも多くの方の自立につながるよう支援を要望しました。

★庁舎改修工事について質問し、庁舎西側中央広場路面改修工事は、年度の早い段階で進めていく考えが示されました。



木村 司 議長

★第14回市議会定例会、22日間が終

了しました。今回の議会改革検討会では、議会基本条例について話し合われ、苦小牧市議会の決意を表現する前文を確認いたしました。また、各会派から意見を頂戴していた、骨格をなす体系図について正副議長案を提示させていただき、またご意見を伺いました。これまで定義されていなかった全員協議会は、議員間の自由な討論を規定するものであります。また、最高規範性、反問権、専門的知見の活用など今後も協議を続けていくことになりました。今後は、体系図に基づき全ての会派が各自の条文案を作成し議論を重ねて成文化していくことを確認しました。



竹田秀泰 議員

★高丘浄水場管理棟改修について、新浄水場に見学者用の会議室や環境に合わせたデザインを検討できないかと質問し、見学専用スペースや歴史ある資料を展示、環境に調和した建物を考えていると答弁がありました。

★共同供養塔の納骨の委託について質問し、4月から12月までの毎週土曜日、9時から30分刻みの15時30分

で最大12組の納骨に立ち会える柔軟に対応可能な業者に随意契約を行いたいと答弁がありました。

★市立病院助産師学資金助成について、助産師を目指す学生に対し月15万円の貸与とし、貸与期間の3倍の期間、勤務した場合は返還免除となりますと説明がありました。



板谷良久 議員

★国民健康保険の財政運営が、市から北海道にかかわることから、市は糖尿病など生活習慣病の重症化を予防する取組みを強化していくことが明らかになりました。

★病院の診療報酬改定により、入院基本料の基準が変更されたことを受け、地域包括ケア病棟の効率的な運用が市立病院の経営において重要であることが明らかになりました。

★苦小牧国際リゾート構想案中間報告によると、IR（統合型リゾート）による市の税収は毎年30億円程度見込まれ、老朽化した科学センターや体育館の建て替えなど、市の裁量で使うことができる財源であることが明らかになりました。